2019 年度 第 1 回 理事会議事録

日　時：2019 年 5 月 16 日（木）10:30～17:00
場　所：東京都千代田区内神田 3-24-5
　　エッサム神田 2 号館 401

Ⅰ．　開会　司会進行：大代専務
Ⅱ．　会長挨拶：「備えあれば患いなし」日頃、どのような備えをしていますか。たとえ経験が豊富でも法律で定められた資格やルールを保持し、社会保険などの加入も必要。当会では定款の第４条（事業）の第一に
「会員の品位の保持及び資質の向上を図るための指導及び連絡」とある。改めてご自分の会社の備えを考えていただきたい。また、本会の存在の（目的）として
「本会は、石材産業の健全な発展とさらなる向上を図るとともに、新たなる石文化の創造に務め、もって社会に　貢献することを目的とする。」とある。今年度第一回目の理事会に再度この目的を確認していただきたい。
そして、ついに和歌山県支部が立ち上がり、４７都道府県に支部が設置されたことになる。
Ⅲ．　議事
1. 議長選出：上野副会長　議事録作成人：事務局（長島きよ子）
2. 定足数の確認：理事出席 64 名（80 名中）有効委任状　79 名　監事出席 3 名（3 名中）顧問 2 名　ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ 2 名
　事務局 4 名　合計 73 名
　新事務局員：久瀬川紀子さん紹介
3. 議事録署名人の指名：正副会長より金子宗弘氏及び監事より犬塚克明氏を指名
4. 資料及び議題の確認・新議題の採択
　新議題＜広報＞母の日参りプレス発表の報告 12 にて追加
（8）【定時総会】2018 年度事業報告・決算報告、2019 年度事業計画・予算について　を分け、
　（8）2018 年度事業報告・決算報告
　（9）監査報告について
　（10）2019 年度事業計画・予算とする。
チェックイン：グループ内で自己紹介　名前、どこから来たか、本日の理事会への期待をひとり 1 分程度で。

【1. 審議事項：第 1 部】

（1）入退会について　入会者 13 名・会費未納者 6 名・退会者 25 名　　大代　資料 入 P1 退 P10

大代氏より資料を元に説明あり
入会：　13 名
審議　反対０　白票０　全会一位賛成
会費未納退会：6 名、退会：25 名　合計 31 名
異議ないため自動承認

（2）【墓石 2019】改葬改修ネットワーク web 掲載　　佐野　資料Ｐ27

佐野　石産協ＨＰ⇒会員ページ⇒墓石部会の中で紹介する。希望者はエントリーし、誓約書を提出。サイト上で改葬先のエリアを検索し、直接依頼することができる。
水野　「業務の発注受注は契約書を作成する」とある。報告書はダウンロードできるようになっているが契約書のひな型はないのか。
佐野　自店のものを使用。なければ石産協 HP で公開しているものを使用。
河田　契約書はつけた方が良い。契約に進み、利益が出る場合、石産協にマージンはないのか。
佐野　協会へのバックマージンの意見もあったが、取引について石産協は一切の関知をせず二者間の取引としており、利益を把握する方法もないため、マージンを取らない方針。
全会一致で可決　7/1 運用開始

（3）【広報 2019】協会ブランディング企画（動画ＣＭ）　　吉野　資料 P32

協会の知名度を上げるため、お墓に興味を持ってもらう内容の 90 秒ほどの動画を作成し SNS（youtube）ユーザーに、7/1～9/30 のお盆前から秋分の日にかけて配信する。3 か月間で 10 万通(1 日千人)を配信し、お墓の窓口に誘導。予算 98 万のおよそ半分は動画作成費、半分は SNS 配信の作業費。安価なこともあり、業者を選択した。
動画はまだ作成にかかっていないので絵コンテを用い広報の精鋭キャストで説明。
谷合　喫煙シーンを出すのは社会的にどうか。
吉野　同じ認識のため、検討する。
犬塚　なぜ亡くなったのを父にしたのか。母親の方が一般的に親しみやすいのでは。
吉野　「口に出せばいいのに」というテーマ。父親の方が疎遠で普段話す機会が少ないので。
柴田　個店に落とすことはできるのか。シリーズ化するのか、youtube 以外、ほかのメディアで配信予定は。
吉野　著作権は協会だが会員使用は検討が必要。即答はできない。リリース後の分析結果により次のステップを考える。シリーズ化ができるか、他のメディアを使うか、キャストを変え、大がかりな新しい動画を制作するかなど予算もあるので検討していくことになる。
小柴　出来上がった動画はどうやってみるのか。石産協ＨＰに貼ってあるのか。
吉野　みなさんが直接アクセスすることはできない。ターゲット広告といい、ネット上で「墓」などのキーワードを検索した人にダイレクトにアプローチするもの。動画を見ることで協会のＨＰ「お墓の窓口」に誘導する。

小野　現代の世相をよく表しているが、母親の存在が薄く気になった。10 万回再生保障とあるが、再生されなかった場合はどうするのか。
吉野　キャストを増やすとコスト合わず母は割愛。期間を延ばしてでも 10 万回再生、中間で進捗悪ければ内容精査。
反対　0
白票 1（谷本）新しいお墓なのか先祖代々のものなのか。納骨などのプロセスは？石屋としてお墓の啓もうをするのならそういったところに焦点を当てた内容が必要かと思う。
賛成多数で可決

(4)【お墓 D2018】第 15 回検定試験事業報告　2019/1/23　小野　P37

小野　全国 6 会場で開催　1 級受検者 81 名　合格者 17 名(合格率 21.0%)／2 級受検者 267 名(255 名(合格率 95.5%)
収支について：予算面での収入の差は受検者数減と、会員・非会員の内訳が読めなかったため。その分支出も抑えられている。毎年配布していた DM を作成せず、受検要項のみで対応した。大きく変えた点は申込用紙を DL できるようにしたこと。1 級受検者減少の対策は次年度に改善したい。
全会一致で可決

(5)【お墓 D2019】第 16 回検定試験事業計画　2020/1/22　小野　P40

小野　2020 年 1 月 22 日（水）・5 会場を選定。中四国の香川県を撤廃した理由は使用していた会場が閉鎖されてしまったことと、受検者数が年々減っていること。現在の「お墓の教科書」はテキストとして今回が最後の使用。1 級を受けやすくするための勉強会を東京・大阪で実施予定。昨年度 DM をやめたが非会員を増やす理由で本年度は作成予定。
全会一致で可決

(6)【定時総会】定款変更：会員種別変更　大代　P37

大代　定款変更のため、総会での審議が必要。定款第 6 条および第 7 条を変更。入会金 3 万円、年会費は一律 54,000 円。
現在の石材業以外の会員が賛助会員に移行を希望した場合、理事会の承認を受け、賛助会員の移行を認める。
柴田　特別会員とは賛助会員と明確な違いは何か。明文化した方が良いのでは。
射場　特に変更の必要はないと思うが、どのような文言で変更すればよいか。
柴田　当会から依頼したかしないかで線引きし、入会審査基準に「特別会員は正副が推挙する法人および個人」を追記すると整合性がつくと思う。あわせて変更した方が良いと思う。
望月　正副ではなく当会が推挙するとした方が良い。
議長　文言を追加して決議する。
反対 3　谷合　変更はせず、理事会でその都度決めればよい。
井口・大代　議案内容をここで変更する必要はない。
白票 2　前迫・西山　ここで変更すべきではない。
賛成多数で可決。ほかに何かご意見のある方は。
犬塚　監事として今の採決には反対する。原案が明確に変更されておらず、理解されないままに採決されているように思う。議案が変更になったことに対し理事会の合意をとっていない。
白木　原案でもう一度採決をしてもよいのか、先ほど一度採決した件を無効にしてもよいのかをぜひ、図ってほしい。
基本的には原案で否決されたら議案を指し戻す。
議長　先ほどの審議を破棄することを採決する。
全会一致で賛成　⇒「文言を追加することに対する審議可決」を破棄
議長　原案で採決する。
全会一致で賛成　⇒原案を可決
大代　総会ではこの決議をもって進行するため、理事は理解を徹底してください。
柴田　入会規定 3 条「特別会員は当会の推薦を要する」と入れてはどうか。入会規定は総会での決議ではなく、理事会での変更が可能。
議長　入会規定の変更は柴田常任理事から次回の正副会長会議に提出してください。
三上　別の個所だが、「第６条　本会の会員は、次の３種として、正会員をもって一般社団法人に関する法律（以下「法」という）上の社員とする。」の文章が分かりにくい。
戸部　本会は法人格をもつ団体である。法律上は人の集まりを「社員」と呼んでいて、定款上は「正会員」という呼び名だが法律上は社員という。社員とは団体における議決権を行使する資格がある。その正会員以外(特別会員、賛助会員)は団体に参加はできるが議決権は行使できないという意味。法律上の言葉でわかりにくいかもしれないが、間違った表現ではない。

(7)【定時総会】運営の進捗状況・来賓について　加藤　資料 P50

加藤　定時総会当日は第二号議案の採決も楽しみにぜひご出席いただきたい。当日スタッフは支部から協力体制ができている。静岡市長、県の石材組合技能士会の会長も来賓として出席。
事務局　委任状はあと 680 通ないと総会を開くことができない。至急提出を。

【2. 協議事項】

(1)【支部運営規定】(役員) 第 7 条　一部追記(案)　　水野　　資料 P52

水野　支部長任期原則 2 期（4 年）とし、支部の活性化を図りたい。支部の人数が少なく、候補者がいない場合もあるかもしれないが、仮に支部長を輪番にした場合でも任期 4 年で 20 年に 1 度の役。副会長として担当の支部を見ていると、人選がうまくいかないところに限って支部活動も停滞気味のため、提案した。

table5（柴田）4 年がちょうどいい。2 年では覚えきれない。なり手がないようなところもあるので支部の独自性もかんがみてほしい。理事会に代理出席を認め支部長の仕事を軽減する。また、部会長委員長にも適用できないか。

table 8（加藤）妥当。遠方だと交通費の自己負担が大変。多くの会員が理事会を経験するとよい良いので交代すべきだが、支部会員の少ないところもあるので特例も認めてほしい。

table 12（天野）賛成。2 年では理事会の内容を理解できない。地区長・支部長の別規定に。リーダーシップを持つ人もいるので特例があってもよい。

水野　概ね同意見と感じた。「最大」原則 2 期とした方が良いと感じた。今後も協議を重ねていきたい。

＜table 協議のまとめ＞

Table 1	射場、米本、小野、阿部（任期を決めることに全員賛成）
・1 期だと手探りで終わってしまい、短い。引継ぎの手続きが大変。 ・何もしない人が長くいるなら 1 期 2 年でもよい。連続なら 2 期 4 年がよさそう。 ・任期が決まっていた方が支部長に責任感が生まれる。	
Table 2	上野、大塚、井口、榎本、堀口（任期を決めることに全員賛成）
・2 期もベストだが、事情があって長期の場合、突然バッサリやめることはできない。 ・2 名候補いるが空港までのアクセスが悪い。（空港アクセスは死活問題） ・各支部で決めたらよいと思う。 ・活性化は良い。 ・後継、候補探しが悩みの種なので、こういうルールは賛成。	
Table 3	吉川、竹ノ内、藪本、木村、平山、望月
・他県の現状が分からない ・支部によって長くやっている方がある。 ・長くやるのはしんどいので良いと思う。 ・人が入れ替わる方が関わる人が増えてよい。 ・体力もあるので 4 年任期がベスト ・任期を決めれば副支部長などにも腹積もりができる。 ・会員数の少ない支部ではつらいかも ・役職がつくなら退会するというひともいるかも。	
Table 4	大石、佐野、能島、北原、前迫、犬塚
・少なくとも 2 名で交代してほしい。 ・常に代わってほしいが、なり手がいない。 ・無理に押し付けると退会につながる。 ・あまり長く支部長をやらないほうがいい。 ・「再任を妨げない」程度でよいのでは。	
Table 5	柴田、大川、伯井、川口、岡谷
・4 年だと 15 人で 60 年に一回。やりたい人に回らない可能性も ・支部の独自性もあっていい。 ・理解するのに 4 年は必要。4 年がちょうどいい。 ・最長 4 年で回すべき。新しい考え方も必要。運営の勉強もできる。 ・活性化のためには必要。 ・常任理事にも適用してほしい。 ・負担になるのなら代理出席も認めてほしい。	
Table 6	森田、山本信夫、天野喜晴、堀、兼子
＜期間は決まっている方がいい＞ ・2 年でもいい。(北海道は 2 年サイクル) ・4 年がちょうど ・出席率が悪いのは「本部で何をしているかわからないから」みんなここに出てくる機会があればいい。 ＜支部によっては事情もある＞ ・原則として(例外も許す)	
Table 7	三上、玉田、中村、吉野、白木、亀石
・北海道では 1 期 2 年で支部長を交代。支部長を受けやすくし、負担を軽減するため。 ・2 期 4 年がちょうどよいのでは。負担を減らす工夫を。 ・支部の人数が少ない県は難しい。 ・支部長(地区長)への旅費のサポートなど、本部で年数を決める以前にサポート作りが必要。	
Table 8	友常、加藤、棚瀬、谷合、大曲

・2 期 4 年は妥当である。 ・遠方からの会議出席の負担に耐えられる人材が少ない。 ・多くの会員が理事会に出席し、協会の内容を勉強した方がよい。 ・実際に支部の運営は大変なので特例があってよい。（できない支部もあると思う） ・支部長だけでなく、他の役職はどうなのか。	
Table９	寺田、山口、笠井、戸髙、安部
・2 年か 4 年かは別として代わってよいのでは。 ・規定があれば代わるきっかけになる。 ・長くなると次に引き受ける人が難しくなることもある。短く決めたほうが良い。 ・次のなり手がない場合はどうするか。 ・イレギュラーを受ける前提なら、よい。 ・間をあけての再任を認めたらどうか。 ・「原則」の理解は？	
Table１０	金子、小柴、藤井、齋藤、高橋、大北（長江）
・現支部長が任期中に育てる。 ・活性化のため原則 2 期 4 年に賛成。 ・茨城は産地で輪番制としているため問題なし。２期４年に賛成。 ・支部長負担大なので会員に均等に負担してもらうために任期制に賛成。 ・本部事業を知ってもらうためにも任期制がい。 ・遠方の支部に援助	
Table１１	水野、谷本、山本健介、河田、小松、平田
・現場を体験してもらうためにも輪番制が良い ・活性化のために 1 期 2 年でもよいのでは。4 年は長すぎかも ・1 期の方が良い。 ・最大 4 年と入れるべき、但し、原則のあとに最大 4 年までとするのが良い。	
Table１２	瀬川、鶴田、西山、田尻、有田、天野展和
・一長一短。 ・支部によって温度差がある。 ・支部長と地区長で別規定の方が良い。 ・2 期 4 年の方が良い（一気に念では把握しづらい）	

【1. 審議事項：第 2 部】

（8）【定時総会】2018 年度事業報告・決算報告　大代/齊藤 別冊(総会)

齊藤会計顧問から決算報告書の説明

・正味財産増減計算書（一般の事業会社でいう損益計算書）は、活動内容が数字に表れている。

収入￥63,268,052　前年度より約 25 万円増。特に「引当金戻入￥736,722」は貸借対照表の災害対策基金を収入に振り替えている。

支出￥63,075,709　前年度より約 135 万円増。特に賃借料、交通費、交際費（災害見舞金が含まれる）など。

トータルはプラス￥192,343 で終わっている。

・貸借対照表の当会の試算について。およそ 98%は現金である。

貸借対照表「正味財産合計」と正味財産増減計算書「正味財産期末残高」が一致しており、ただしく計上されていることになる。

（9）【定時総会】監査報告について　望月 別冊(総会)

望月　5 月 8 日に監事により確認、監査終了したことを報告。

同日に支部総会報告書も閲覧。支部により差はあるもののほぼ支部総会を行っていること確認した。未提出の支部は早めに提出すること。支部会員全員に活動内容が浸透することを願う。

（8）（9）監査含め、全員一致で可決

（10）【定時総会】2019 年度事業計画・予算について　大代　別冊(総会)

大代　1200 万円の赤字予算。2018 年度の決算は 19 万円の黒字だったが、収入に対し、かつかつである。次回はもう少し精度を高めた事業計画及び予算書の作成をお願いしたい。

全員一致で可決

【3. 討議・報告・周知・依頼事項】

（1）【東北地区 2018】全体会議 in 山形事業報告　2019/3/1～3/2　米本　資料Ｐ55

米本　46 名の参加。東北の各県では支部会員が少なめだが、地区の会員にとっても刺激があり、今後も新会員への誘致につなげてぃきたいと思う。

また、青森県支部総会に一般向けセミナーを合わせ、弘前大学考古学教授をお迎えし「墓石が語る江戸時代」という

タイトルで当時のひとが墓石に込めた思いを紐解く講演会が行われた。秋田県では市営墓地に 1 体 17,000 円の合葬墓ができたと話題になるなど、当会からも公への働きかけができないかと話しており、活動を広げながら会員増強につなげたい。

(2)【支部助成金 2019】奈良県支部　なら燈花会　2019/8/5～8/14　木村　資料 P57

木村　昨年の来場者 95 万人。インバウンドの観光客も多く、日本の石文化を知っていただくきっかけになる。

(3)【支部助成金 2019】新潟県支部　講演会　2019/4/12　齋藤　資料 P59

齋藤　参加者一般 34 名・石材 25 名、合計 59 名。目標 100 名に届かず。長岡の新聞に 3 回、市の広報誌に 1 回掲載した。パンフレットをもって県内の石材店に配り歩いたが参加者振るわず残念。各店が消費者に対しお墓は大切なものだという共通の考えを伝えていくことが大切だと思う。

(4)【支部設立】和歌山県支部設立総会　2019/5/10　大石・水野　資料 P62

大石　最後の支部が立ち上がり、大変うれしく思っている。西岡支部長は若いが意欲をもっているので、みなさんでご指導いただきたい。

水野　無事に、こころ晴々設立総会を迎えられた。

(5)【加工】第 11 回加工講習会　事業報告・決算@2018/2/6　大川　資料 P 63

大川　一輪差し花器の 4 面を異なる加工方法で作成。京都（三和研磨工業）では他の会場ではない、専門的な大型工具を使うことができた。参加者が少なく、予算計上が甘かったのは大きな反省点。登録料 3 万円は高すぎたか、講習会の内容にあわせた登録料に検討が必要。次回は内容を大きく変えて字彫りなどを検討。

短時間の研修では石を簡単に加工できないが、このような講習会を通じて国内の加工技術を次世代に残し、消費者にも伝えていきたい。

(6)【部会 2019】石材サミット合同 6 部会について　2019/6/21　鶴田　資料 P65

鶴田　総会の午前中に静岡にて開催。各部会から 10 名排出を依頼。テーマは各部会の現状を紹介。また共通のテーマで 6 部会それぞれの立場から議論したい。

(7)【採石 2018】国産銘石アドバイザー研修瀬戸内編その２　2019/3/6～7　鶴田　資料 P66

鶴田　50 名定員に振るわず、37 名の参加者。3 名非会員だが入会の意思を確認している。石を知ること、製品にする技術を知り、置き去りにしないよう研修を継続したい。

(8)【墓石 2018】第 3 回墓石部会会議　事業報告・決算　2019/2/13 樹木葬　佐野　資料 P68

佐野　参加人数 48 名。樹木葬をテーマに現状を講師から聞き、ニーズのある樹木葬、石材をどのように活用していけばよいかをディスカッションした。

(9)【墓石 2019】第 1 回墓石部会会議　事業計画・予算　2019/7/18 終活の事業化　佐野　資料 P75

佐野　今回から有料となる。終活を事業化にまで発展している企業は少なく、成功例を話してもらう。石産協通信にチラシを入れて募集開始。

(10)【墓石 2019】社会調査(補助金事業）進捗について　佐野/柴田　資料なし

佐野　中央会へ資料をエントリー申請した。委員会ではアンケート項目を細かく精査中。

柴田　まだ承認は下りていないが順調に進んでいる。8 月中旬頃支部長へ紙レベルのアンケート調査票（A3 用紙 3 枚）を送付する。依頼するノルマは検討中だが、支部長は支部会員などへ配布し、回答を回収していただきたい。全国のお墓に関する消費者の意識がわかり、自県のサンプル数が多いほど傾向や流れも顕著、その点でメリットがある。自分たちにかえってくる調査なのでぜひ協力をお願いする。

射場　アンケート結果は 2/6 大阪、2/12 東京で成果普及講習会を行う。ぜひ参加を。

(11)【広報 2018】Pray for (one)2018 実績報告　吉野　資料 P80

吉野　当会が協賛する事業、5 年目となる。3 月 27 日は祈りの日と制定し、その日に合わせた法要を執った執り行った。

(12)【広報 2018】石工男子＆女子による業界の活性化と墓石需要促進（その１）　吉野　資料 P82

吉野　ＬＩＮＥ＠を開設し、お友達登録も徐々に増えている。低額ながら、スタンプ購入の収益も。まだ途中過程だが、石工男子をＰＲするだけでなく、部会や委員会からのお知らせなど、メールやＦＡＸだけでなく速報を簡易的に配信できるＬＩＮＥ＠を今後も活用していきたい。ぜひ、お友達を増やす協力をしていただきたい。

【広報 2019】母の日参りプレス発表　2019/4/23 開催　吉野　当日の動画

吉野　俳優の草刈正雄さんをゲストに迎えお手紙コンクールの授賞式も行い、多数のマスコミにも取り上げている。

(13)【ＣＳ委】国産銘石カタログ　注文数：358 冊￥2,961,360（5/10 現在）　能島　資料なし

能島　カタログの注文多数あるが、バインダの金具が壊れるというアクシデントもあり、制作会社から詫び状を発送。不具合はバインダの取り換えを行う。

(14)【ＣＳ委】各種販促ツールの販売拡大について　能島　資料 P83+配布

能島　「いしずえ」会員外にも使えるようにした。自社で作成するのは手間がかかるので、ぜひ使っていただきたい。

(15)【お墓 D2018】駿台トラベル＆ホテル専門学校カリキュラム受託事業について　小野　資料 P84

小野　2 年間行ったことで、一般の方に 2 級試験を受験していただく勉強会パッケージが出来つつある。自分自身も講師をしたことで、改めて勉強になり貴重な体験。

(16)【お墓 D2018】1 級取得者研修会事業報告　2019/2/20～21　小野　資料 P85

小野　大阪での座学、神戸での研修。西日本で行うと参加者が少なめ。消費者に石材業としていかにエンディングを伝えるかさらに踏み込んだ議論がなされた。

(17)【役員】役員候補者管理委員会 2019 年度立ち上げについて　大代　資料 P86

大代　2020 年度の役員改選に向け、役員候補者管理委員会が発足される。委員メンバーが決定し、第 1 回委員会を 6/22

に行う。

（18）【公正 2018】公正競争規約推進委員会構成メンバー・石産協内での推進について　白木　資料 P87

白木　2018 年度は推進のため、石産協の費用を使わせていただいた。今後のスケジュールを報告。引き続き支部総会でのアンケート協力要請。

（19）【公正 2018】設立準備会への協賛金支出及び進捗状況について　白木　資料 P89

白木　別団体として銀行口座を作り、今年度からは経理を当会から切り離す。

（20）【協賛依頼】あじストーンフェア 2019 広告協賛の件　大代　資料 P90

大代　6/8～9 に開催。10 万円の協賛。

（21）【協賛依頼】むれ源平「石あかりのロード 2019」協賛依頼　大代　資料 P90

大代　8/3～9/14 に開催　20 万円を協賛。

（22）【支部】支部総会の日程について　大代　資料 P92

大代　支部総会の日程、総会資料、議事録は速やかに提出を。

（23）【中長期 2018】長期ロードマップの作成　竹ノ内/射場　資料 P93

射場　シナリオプラニングの手法を用い、石材業の中長期的な道しるべとしてロードマップ作成する。本来 2018 年度に完成させる計画だったが、1 年間の予算を 2 年に分け精査を重ね、会員に提示したいと考え引き続き取り組むことになった。それぞれ自社の立場に置き換えて使っていただきたい。

チェックアウトに代わり、出席者からひとこと

堀（茨城県）　昨日は南北関東信越地区合同支部長連絡会議を行い、秋に行う地区全体会議の打ち合わせを行った。しっかり準備していきたい。支部では昨年から、お墓参りのポスターを県内の小中高 800 校に配布。今年も継続する。

戸髙（埼玉県）6 月総会に多くの支部会員を連れ、関東地区全体会議も積極的に参加し支部をまとめていきたい。

榎本（東京都）地区全体会議は茨城で行うので有志のゴルフコンペも企画したいと思っている。

川口（山梨県）事務局のみなさんご苦労さまです。

北原（静岡県）総会・エクスカーションの大成功に導きたい。交通の便もよいのでたくさんの方に来ていただきたい。

吉田（愛知県）総会に向け毎月のように集まっている。司会の大役だが、台本を忠実に進行したい。

藪本（大阪府）秋に熊本城の石積みを視察する研修旅行を企画している。

堀口（鳥取県）17 名中 15 名参加。鳥取県はまとまっていると報告したい。母の日参りの事業が印象的。80 歳になる母が仕事を手伝ってくれている。明日からも感謝したい。

天野（山口県）有意義な会議だった。

岡谷（香川県）退会者が多く残念。あじストーンフェア、石あかりロードに協賛いただき感謝。

阿部（徳島県）新年度早々、相談室を開催しお墓 100 年プロジェクトのフォトコン写真を現場でスライドショー再生したことで、集客を担った。

小松（高知県）昨年高知県開催だったので今年は支部メンバーを静岡に連れていきたい。

寺田（福岡県）少ないながらも盛り上がる支部づくり。目標は会員を増やすこと。

大曲（佐賀県）1 年たってようやく石産協のことがわかってきた。設立してから 7 名のまま。うち 3 名が採石者。ぜひ研修などに利用してほしい。

有田（大分県）退会者が出て年々減っている。九州地区全体会議に積極的に協力する。

亀石（茨城県・オブザーバー）活発な会議。支部長も仕事をしていると確認したので支部に持ち帰って報告したい。

瀬川副会長　北海道、東北は交互に地区全体会議。今年度は 2 月に北海道地区全体会議の予定。

金子副会長　毎回福岡だが今回初めて沖縄で支部長連絡会議を開催。

友常副会長　各部会が活発に活動している。

山口副会長　各部会活発に活動。全会員が部会に所属しているので、総会前の 6 部会会議にもぜひ参加を。

中村副会長　定時総会では議長を仰せつかっている。

天野地区長　4 月は各支部総会に参加した。支部長連絡会議でも意見交換が活発に有効に行われた。

藤井地区長　11 月に広島での地区全体会議に向け、準備をしっかりしていく。

笠井地区長　各支部総会に参加。嘉門さんの大ファンなので総会が非常に楽しみ。

玉田地区長　7 月に支部長連絡会議、11 月に地区全体会議を開催。

棚瀬部会長（建築）来週 5/24 部会。毎回一定の参加がある。定時総会には部会から一人でも多くの働きかけをする。

吉川部会長（輸入）部会では、勉強会もセットで行っている。毎回、部会員の 15%くらいの出席率を目指したい。

大塚部会長（関連）部会内でグループ分け。出張メシGは 1 回しかないお昼ごはんのチャンスを有効に使えるような 1 冊を作成する。ストーンアシストGでは、岩手を開催地候補としている。交通の便や集客力が良いという理由で候補地を決めたわけではなく、日頃情報が届かないところへ情報をもっていくというコンセプト。

＜監事講評＞

望月　活動が活発になればなるほど事務局は負担が大きくなることに理事の理解が薄い。協会の事業を会員はどれだけ理解できているのか。とくに公正競争規約では、意見が割れることもあるが以前から理想は変わっていない。やり方が違うだけ。理解をしないままにどんどん進んでいかないでほしい。良くなろうとしているのに業界が分裂しないで

ほしいと願っている。もう一度立ち止まって地道に会員の理解を深める努力をする事が大切。
伯井　活動が明確になってきており、今期に行うべきことが事業化されていることが大変よい。
犬塚　会議のルールに則って明確に進めること。

＜顧問＞
戸部　法律の分野で、協会に貢献できれば良いと思っている。

＜その他＞
小野　お墓 D 委員会でも時々きいていたが、お墓じまいをした親の子どもたちが、やはりお墓を作りたいと石材店に相談するケースが増えている。自分の代はいいが、さらに子どもの代のことまで考え、どのようにフォローすればよいかを石材業として考えていきたい。

議長　途中緊張させてしまい、申し訳ない。
大代　理事会を退出する際は、ひと言声をかけて帰ってください。

閉会

2019 年 5 月 16 日

議事録署名人　：　金　子　　宗　弘　　㊞

議事録署名人　：　犬　塚　　克　明　　㊞

議　　長　：　上　野　　圀　光

議事録作成人　：　長島　きよ子

＊自署押印原本は事務局にて保管